

## 言葉を選んで、短歌（たんか）を作ろう

教科書六十ページ〜六十三ページ

◎まず教科書を読みましよう。

◎短歌のルールを書き込もう

( ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( ) のリズム

全部で ( ) ( ) 音

**短歌は季語がいららない短い詩です。**

※俳句は五・七・五のリズムで季語が必要

短歌の魅力はたった三十一音で、みりよくいろいろな場面の風景の様子や気持ちを相手に伝えることができます。

◆短歌にしたい場面（テーマ）を決めよう

家族、友達、恋人、親戚、ペット、先生、音楽、スポーツ、  
レジャー、ショッピング、ゲーム、料理、登下校の道、天気、  
ニュース、はやってるもの、恋愛、健康、お金、  
イベント（誕生日、クリスマス、夏休み、冬休み、  
入学式、卒業式、始業式）など。

しゅんかん

その瞬間を切り取って、相手に伝わるように様子や気持ちを言葉にしてみよう。

◆教科書を例にして（書き出しを『たのしみは』にして）短歌を作ってみよう。

たのしみは

七

五

時とき

七

七

（ときを入れて七文字）

◆「たのしみは」を他の言葉に変えて作ってみよう。

時とき

◆「たのしみは」「時」を使わないで作ってみよう。

他にできたらノートにも書いてみよう。